



2017. 1. 1

西神戸 YMCA 幼稚園

## 1月ようちえんだより

新年あけましておめでとうございます。

年末のクリスマス、そしてお正月はそれぞれのご家庭で様々な過ごし方があったことでしょう。12月にはクリスマス礼拝・祝会にてイエス様の誕生をお祝いし、お正月は家族が集い、きっと子どもの成長が感じられる時だったのではないのでしょうか。

今年で西暦2017年となりました。イエス様の誕生から数えて2017年もの月日が流れたということです。数字で年数を表わすのは簡単ですが、日本の2000年前といえば弥生時代であり、農耕を行うために集落を作って共同生活を営むようになった頃で、まだまだ国としての成り立ちもままならない時代でした。そう考えると2千年を越えてお祝いされるクリスマスで子どもたちが演じるページェントには畏敬の念を感じます。時を重ねた重みと子どもたちの純粋さがそうさせるのかもしれませんが。

年末に日本の首相として初めて安倍首相が、1941年に旧日本軍が米国との戦端を開いたハワイの真珠湾を訪れ、旧日本軍の奇襲攻撃を受けて沈没した戦艦アリゾナの上に建つ追悼施設「アリゾナ記念館」で献花し、犠牲者を慰霊しました。これは昨年5月に広島市の平和記念公園・広島平和記念資料館を訪れ、献花、スピーチを行ったオバマ大統領への返礼とも、日米の和解と強い同盟関係を次期アメリカ大統領政権へ移る前に強調する意図があるとも言われています。いずれにせよ和解の力が平和の実現に大切な力となっていることが示された歴史的な出来事であったのは確かだと思われまます。

子どもたちの世界に喧嘩は付き物です。自分の感情が優位に立ち、ついつい大声を出したり手を出してしまったりと、相手の気持ちを察して思いやる力がまだまだ未熟だと言えます。しかし最終的には相手の気持ちを聞き、また自分の気持ちを伝えることで、「そうか、〇〇ちゃんはそんな気持ちだったんだ」と学び理解できる力が身についていきます。そうすると、子どもたちは今まで以上に仲が良くなり、関係性が強まります。そのような関わりの連鎖が子どもたちの成長に大きく寄与していくことでしょう。

平和とは、単に戦争・紛争・内乱・テロ等が無いということだけではなく、ただ悲しいことに子どもたちにはできる「和解」「寛容」「思いやり」ということが、大人にはできずに利権や民族・宗教の違いによって今なお世界のどこかで争いが起こっています。ある意味子どもたちの世界にこそ現状の救いを見いだすことができるのかもしれませんが。

新しい年を迎えるにあたり、子ども同士がぶつかり合いながらも関わり、そしてそういった経験を通して子ども同士が響きあう関係にまで成長することを信じて、子どもたちの世界を見守っていきたいと思います。

年主題 「平和をともに」

1月主題 「なかまとひびきあって」

聖句 “光の子として歩みなさい”

(エフェソの信徒への手紙5章：8節)